

アカガイ養殖に希望をかける
～垂下式アカガイ養殖の取り組み～

由良町中央漁協 4Hクラブ
山 本 剛

1. 地域の概要

瀬戸内海に浮かぶ淡路島は、古くから御食つ国（みけつくに）として朝廷に食料を貢進するなど、豊かな食材の宝庫としての歴史があり、現在も農・漁業が盛んに行われ、兵庫県だけでなく京阪神への「食」の供給基地として大きな役割を担っている。

洲本市由良は、淡路島の南東部に位置し、紀淡海峡に面した瀬戸内海国立公園の美しい自然、景色のなかにある。（図1）

2. 漁業の概要

由良町中央漁業協同組合の組合員数は156名（正組合員：144名 准組合員12名）で、潜水漁業を中心に、一本釣り、小型底びき網、ノリ養殖などが行われており、平成22年度の漁獲量は約250トン、漁獲金額は約4億円である。

潜水漁業で漁獲されるウニは、濃厚なうま味が特徴の「由良のアカウニ」として有名で、京阪神の料亭や寿司屋では高級食材として取り扱われている。

3. 研究グループの組織と運営

由良町中央漁協4Hクラブの会員は15名で、地元イベントでの水産物のPR活動や、海の清掃活動などに積極的に取り組んでおり、若く活気のある組織である。

4. 研究・実践活動取組課題選定の動機

アカウニの原因不明の大量へい死に加え、アワビなど磯根資源の減少等の影響により厳しい経営状況が続くなか、主に潜水漁業を行う4Hクラブの会員からは、これからの将来を考えたとき、手間がかからず安定した収入を見込める副業的な漁業が必要との意見が常々あがっていた。

そのようななか、平成20年10月、兵庫県内で垂下式貝類養殖の先進的な取り組みを行っている室津漁業協同組合の養殖施設を視察する機会にめぐまれ、それがきっかけとなりアカガイ養殖試験に取り組むこととなった。

5. 研究・実践活動の状況及び成果

平成21年2月、殻長3～4cmのアカガイを、由良港成ヶ島南東海域に設置したイカダ（7×5m）に吊り下げたコンテナに収容し、養殖試験を開始した。

試験初年度は、由良の海でもアカガイが育つかどうか確認することを主な目的に、視察先の室津漁協と同様の方法でコンテナに砂を敷き、アカガイを飼育した。（図2）

2年目は、コンテナ付着物の除去や間引き・選別の作業性を改良するため、砂の代わりに砕き瓦（商品名シャモット、粒径5～10mm）を敷き詰め、砂との比較試験を行った。

3年目は、砂+コンテナ、砕き瓦+コンテナに加え、さらなる作業性の向上を求め、砂や砕き瓦を入れた玉ねぎ袋をメッシュ状の野菜カゴに収納し、比較試験を行った。（図3）

1年目、ほとんどへい死することなく、由良の海でも十分成長することが確認された。

養殖開始時点（2月）に、殻付平均重量約9gだったアカガイが、翌年の3月には約70gに成長した。（図4・5）

2年目、「砕き瓦」を使用することで軽量化を図り、作業負担が大幅に軽減されたこととあわせ、砂とほぼ同様の成長が確認され、翌年の6月末には約100gに成長した。

地元の飲食店に試験的に提供したところ、「ヌメリがなく、身の色がきれいで味もよい。」との高い評価を得ることができ、淡路島内での販売先が確保されることになった。

6. 波及効果

この取り組みが一定の成果をあげ軌道にのったことで、漁協内において、副業としての垂下式貝類養殖が認知されるとともに、淡路島内において同様の取り組みが行われるようになった。

7. 今後の課題や計画と問題点

効率よく利益をあげるには、出荷時期をアカガイの飼育サイクルにあわせて2年目の夏までとし、そのタイミングに合わせて商品価値が高い殻付重量100g以上を出荷できる体制を確立するとともに、淡路島内だけでなく島外も視野に入れた販路の開拓が必要となる。

また、生残率の向上と成長の促進を図るには、月に1回の頻度でコンテナに付着するイガイやホヤなどの掃除と選別作業が必要である。月1回とはいえ、本業（潜水漁業など）が終わった後に人力で作業することになるため、コンテナの軽量化等による作業の効率・省力化が、この取り組みを続けていくための大きなポイントとなる。

現在、より短い期間で出荷サイズに成長するトリガイについても、アカガイと併せて試験的な取り組みを行っている。

今後、安定した収入を得るための副業としてこの取り組みを定着させるために、高い品質でまとまった量のアカガイを安定的に生産するとともに、よりよい販路の確保と作業の効率化を更に進めていきたいと考えている。

図1 洲本市由良

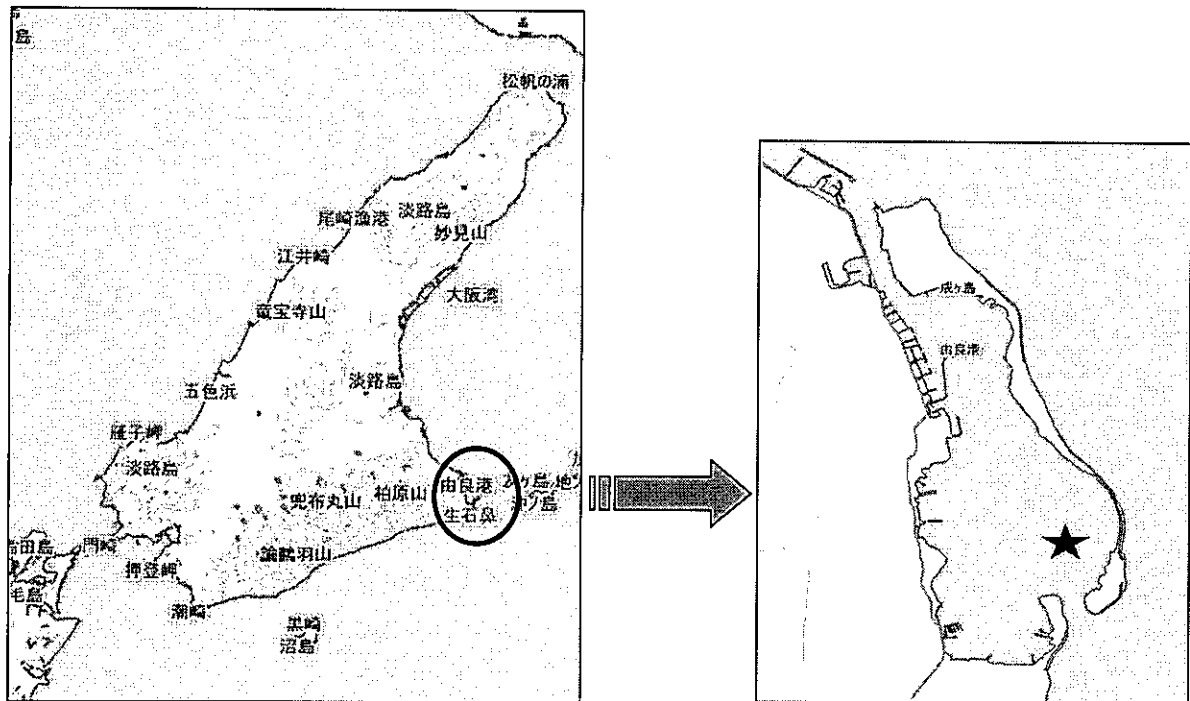
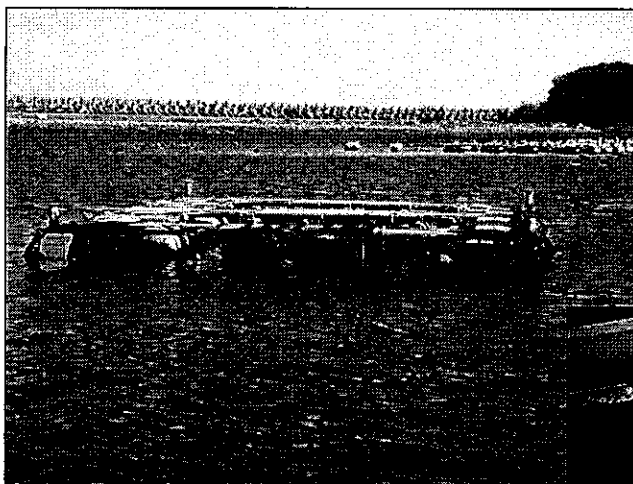
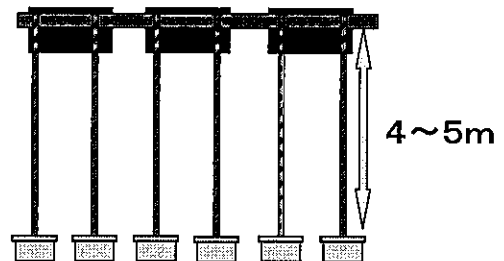


図2 養殖方法



イカダ 7m × 5m



コンテナ 35cm × 46cm × 16cm

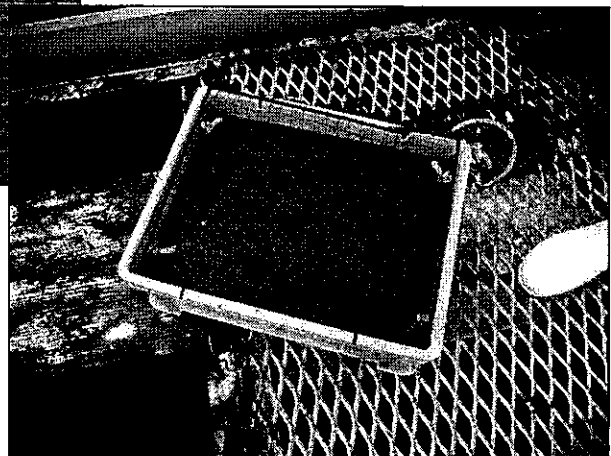
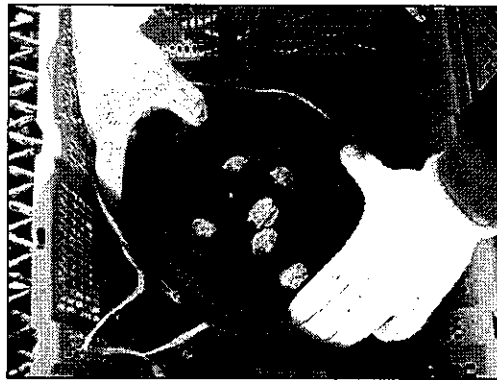
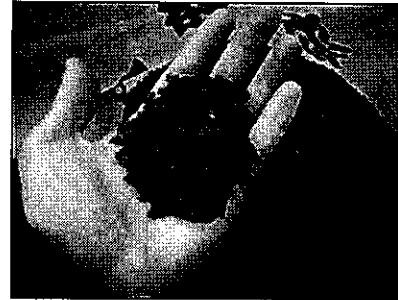


図3 養殖方法（2年目～）



コンテナ+砕き瓦



野菜カゴ+タネキ袋

図4 成長結果

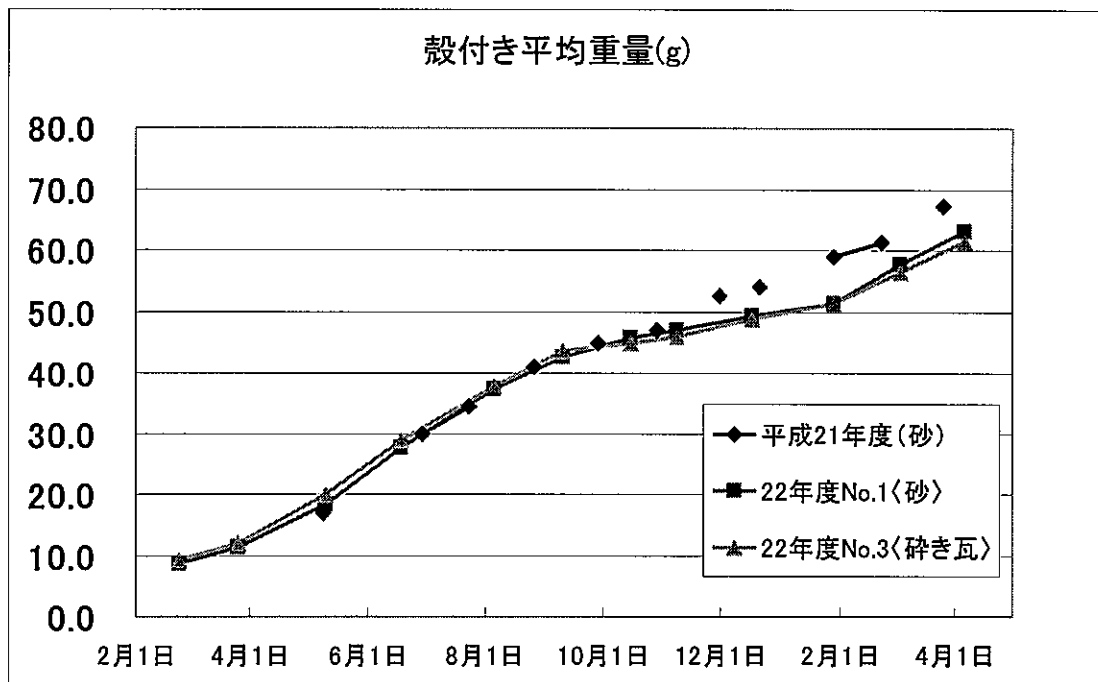
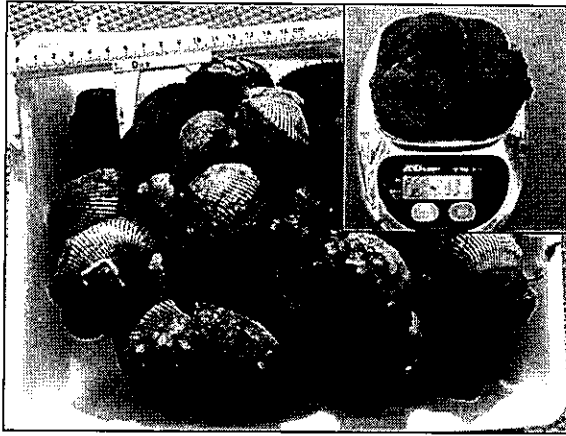
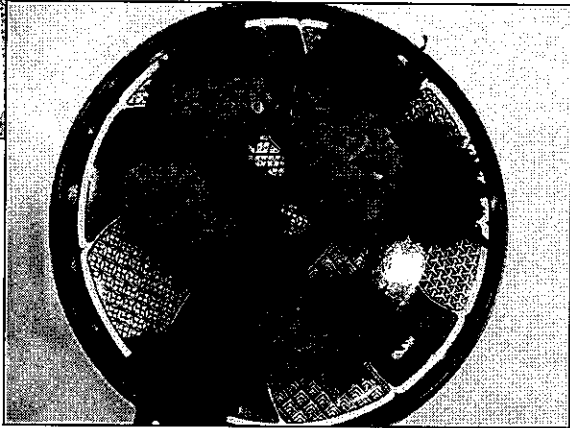


図5 成長結果



3個で333g!

2年目のむき身



2年目6月末時点